

【羽後町仙道地区：仙道地区振興会・仙道てんぽ】 ～「お互いさまスーパー仙道てんぽ」を拠点とした地域づくり～

<地区の概要>

県南部に位置する羽後町の山間部にあり、町中心部から10kmほど離れ、冬は積雪が3mを超えるような県内でも屈指の豪雪地域である。通院や通学には峠を越える為夏場でも自転車による移動は困難で、車での移動が必須な地域となっている。しかし、平成19年度末の民間路線バスの廃止により、現在は町立病院の送迎バス、乗合いタクシー、地域循環バスが自家用車以外の移動手段となっている。

世帯数は300戸余りで、人口約900人、高齢化率は40%を超え、町内でも少子高齢化が著しい地域である。

<地区の取組>

仙道地区振興会は、仙道地区全20集落からなる地域の振興会で、地域のお祭りや運動会などのコミュニティ活動をはじめ、安全・安心なまちづくり、環境美化活動など地域の基礎的な組織として重要な役割を果たしている。

また、平成28年度には仙道地区振興会の会長が「株式会社仙道てんぽ」の代表取締役役に就任し、仙道てんぽを地域のお店として位置づけを強めているほか、平成29年度には、店舗にサロンや加工施設を併設し、地域の拠点としての機能を強化している。



【仙道てんぽの様子】



【加工施設の様子】



【サロンの様子】

【今後の課題】

- ・ 地域の高齢化と人口減少に伴い、店舗利用者が減少し売上も下がってきており、新たな利用者を掘り起こす必要がある。
- ・ 人々のサービスニーズが多様化しており、買い物機能に加え、賑わいや楽しみを醸し出し店舗の利用を促進する。
- ・ 産直会員等との連携を強化し、地場産品や特産品販売を強化し、地域への経済波及効果を高めていく。

羽後町仙道地区の取組の変遷

平成15年
JA購買部を引き継ぐ形で
住民有志による「仙道て
んぼ」の運営開始



平成19年
「(株)仙道て
んぼ」を設立

平成27年
JAこまち仙道
出張所の廃止

平成28年
仙道小学校が
統合（廃校）

平成28年
「お互いさまスーパー
仙道てんぼ」オープ
ン



平成29年
総務省の補助事業を活用し、
小さな拠点機能を強化（サ
ロンや加工施設等を整備）



令和2年
新たな除雪の共
助組織「結いの
会」立ち上げ



令和元年
「仙道てんぼ」
で配達サービス
を開始



平成29年
地域通貨の導入（県
道の草刈り作業料の
一部を地域通貨で支
払い）



☆取組のポイント

JA出張所の廃止や小学校の統合など、地域から賑わいが失われていく中、自らが危機感を強め、集いの場や加工施設を整備するなど拠点機能を強化してきている。

人口減少や少子高齢化が進む中、地域ニーズに応じたサービス展開を図り、暮らしの維持に努めている。

活用した行政の支援制度

＜「お互いさまスーパー」の設置＞

- ・（県）お互いさまスーパー創設事業

＜小さな拠点機能の強化＞

- ・（国）過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業